

# ノリ養殖環境速報 KH-30-14 (播磨灘)

平成 31 年 3 月 13 日 発行

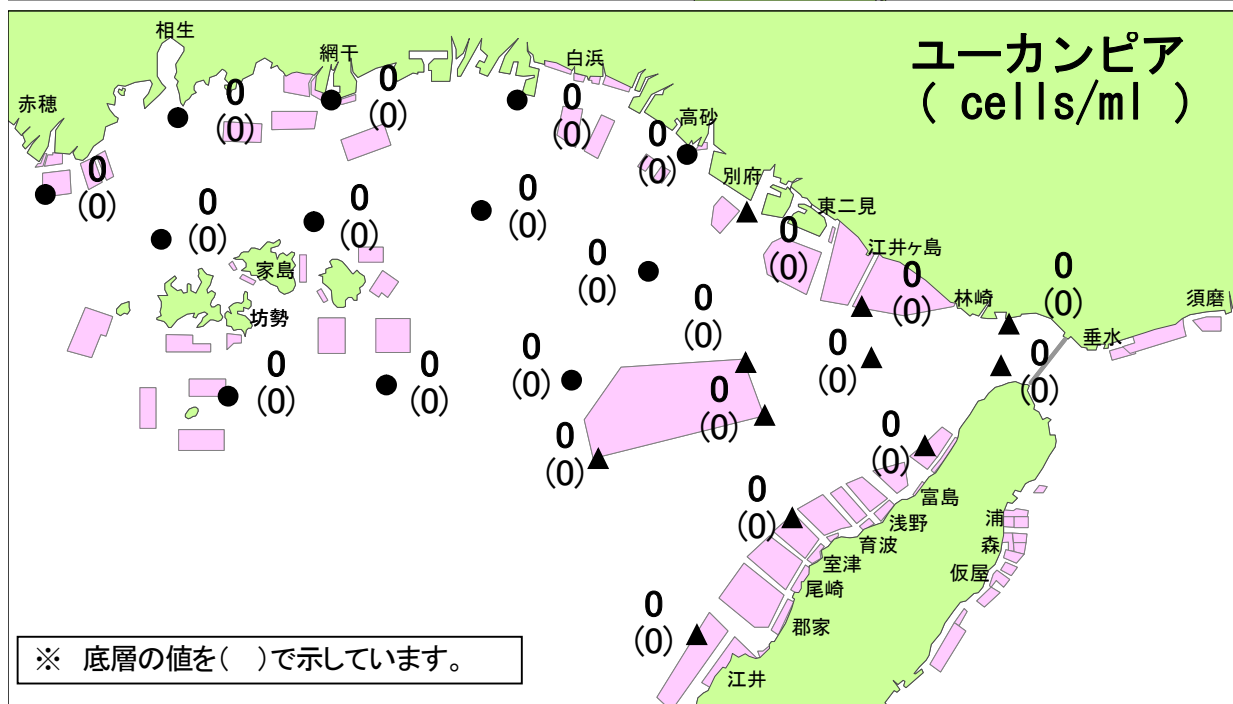
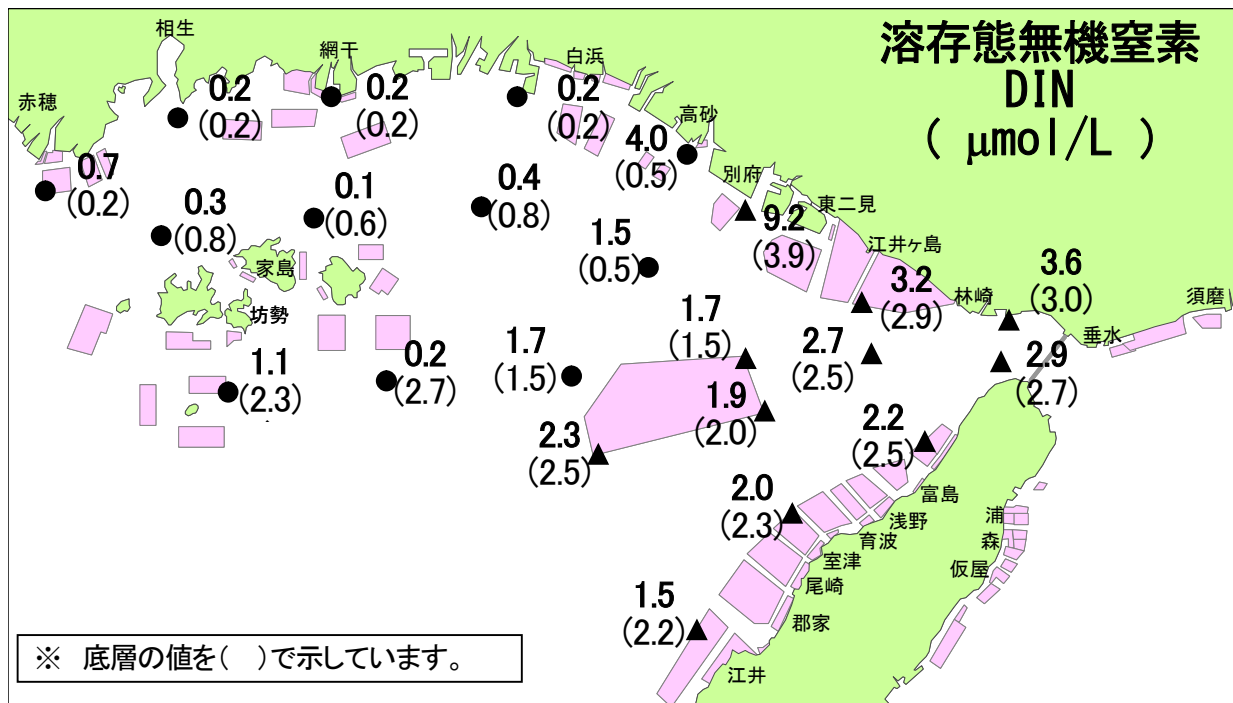
調査年月日：平成 31 年 3 月 12 日

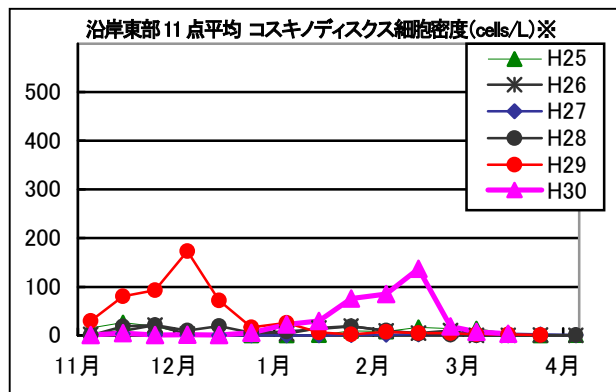
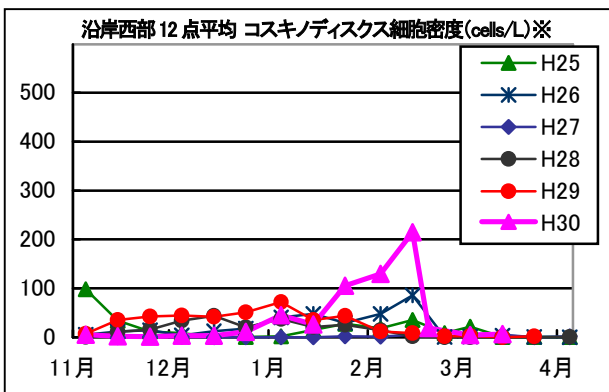
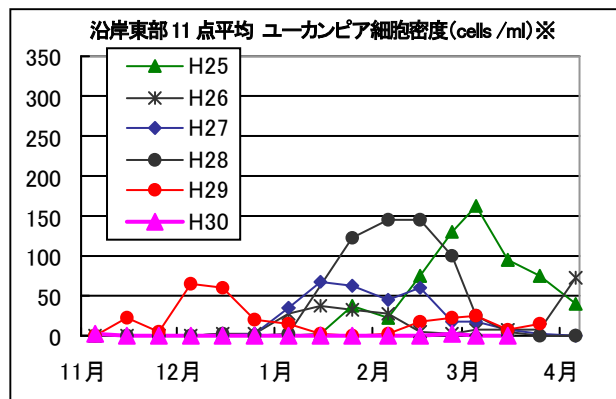
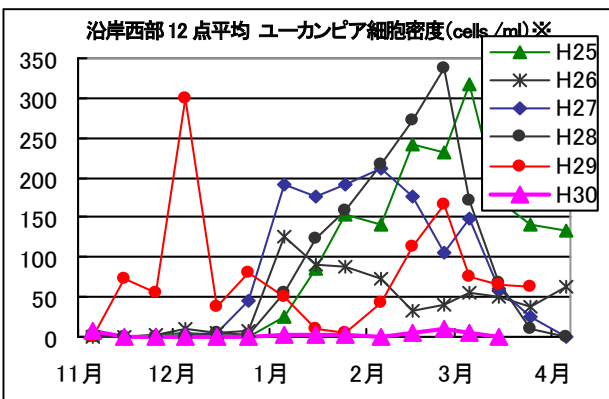
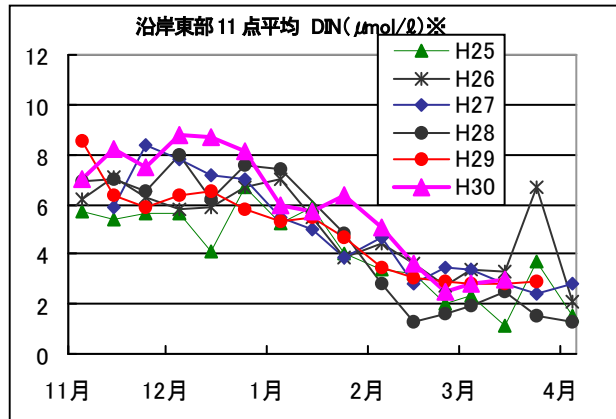
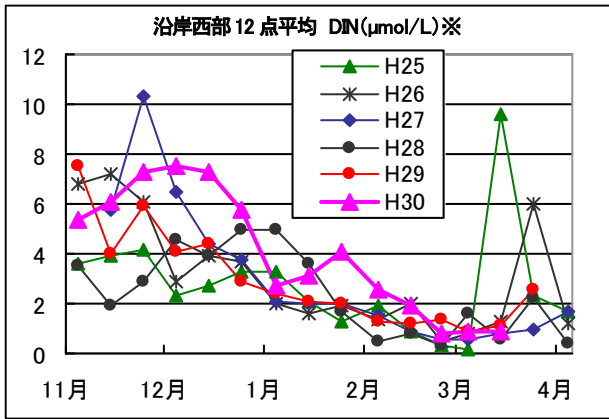
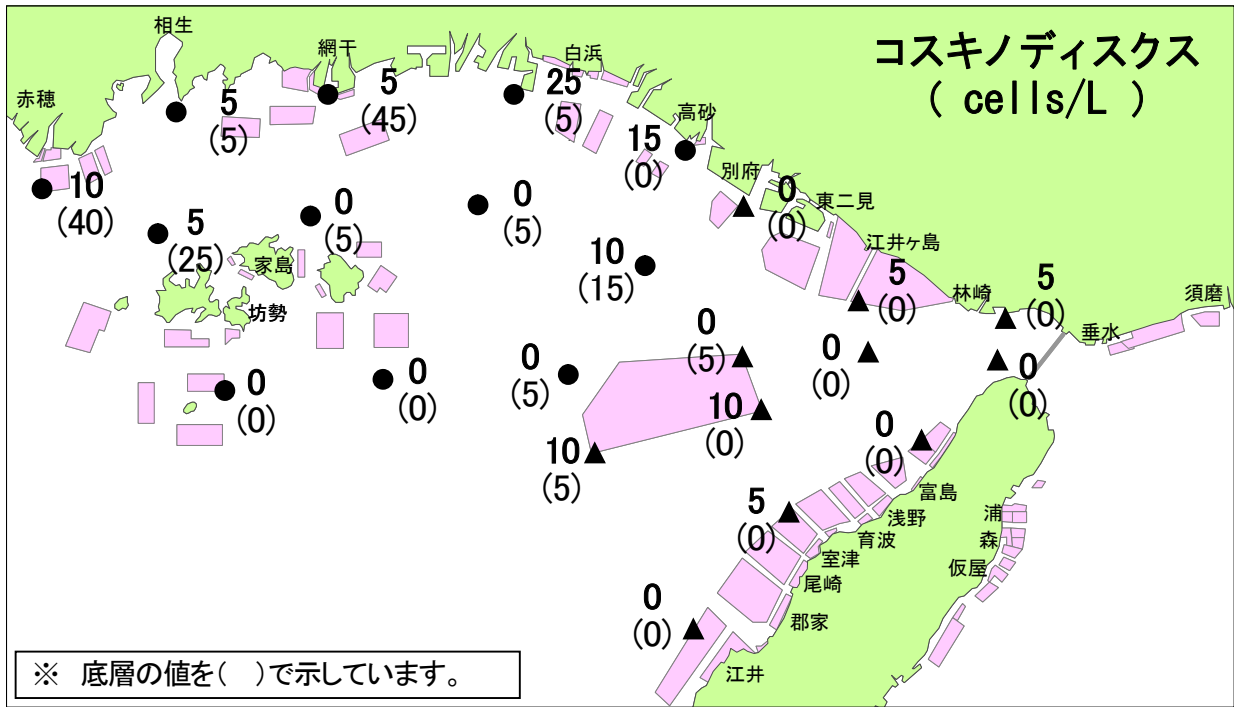
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

**概況** 播磨灘北部(調査海域)の表層 DIN 濃度は、明石海峡から高砂市沿岸域を除き  $3\mu\text{mol/L}$  以下の値で推移しています。北西部沿岸及び西部沖合海域では、概ね  $1\mu\text{mol/L}$  以下となっています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーはわずかに確認される程度です。ユーカンピアは確認されませんでした。

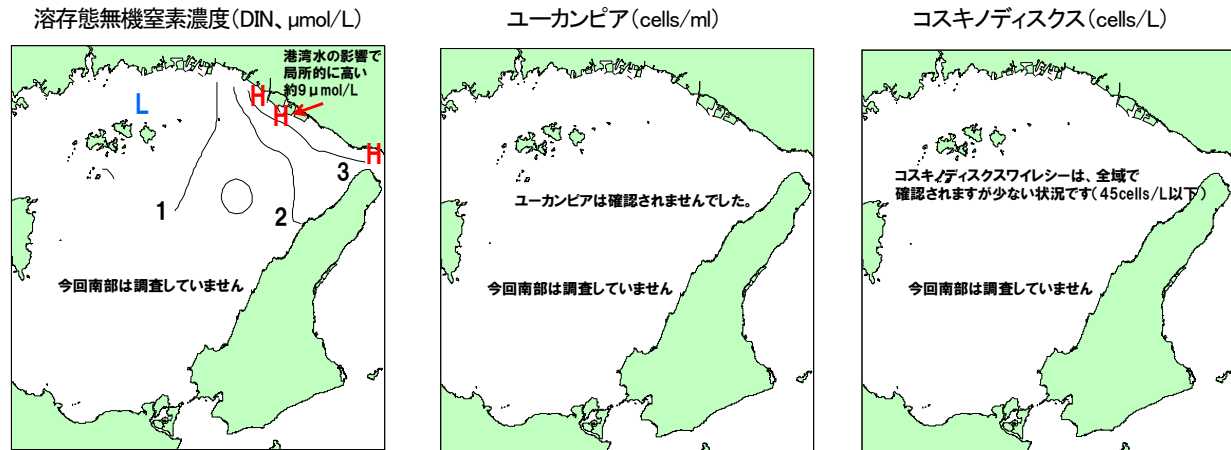
水温は、白浜以西では  $10.6\sim 11.1^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では  $10.5\sim 10.8^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で  $10.5\sim 11.3^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では  $10.9\sim 11.3^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では  $10.6\sim 11.0^\circ\text{C}$  でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

## 平成31年3月12日の水平分布状況(表層、実測値)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層のDIN濃度は、明石海峡～高砂市沿岸域を除き、 $3 \mu\text{mol/L}$ 以下でした。ただし、北西部沿岸及び西部沖合海域では、概ね  $1 \mu\text{mol/L}$ 以下となっています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーはわずかに確認される程度、ユーカンピアは確認されませんでした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みとされていますが、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

### 週間天気予報 気象庁 3月12日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(3/13～3/19)の近畿地方は、北部では低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨や雪の降る日があるでしょう。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間のはじめに低気圧や湿った空気の影響で雨の降る日がある見込みです。なお、13日は、低気圧が発達するため、荒れた天気となり、しける所があるでしょう。

最高気温は、平年並の見込みです。最低気温は、13日は平年より高く、その後は平年並でしょう。降水量は、平年並の見込みです。

### その他の情報

・岡山県の調査(3/14)では、日生沿岸のDIN濃度(表層)は  $0.6 \sim 2.1 \mu\text{mol/L}$  でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクスは  $0 \sim 20 \text{cells/L}$  確認され、ユーカンピアは確認されませんでした。

・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

### 【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成31年3月22日頃に発行する予定です。

\*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。

<http://www.hyogo-suigi.jp/>